沖縄県立糸満高等学校
校　長　山城　芳則

学校長あいさつ

沖縄県立糸満高等学校のホームページをご覧いただきありがとうございます。

令和７年４月に第30代校長として就任しました山城芳則と申します。

糸満市出身で、平成19年から25年の７年間、数学科教諭そして野球部顧問として勤務いたしました。平成23年夏の甲子園に初出場したことは貴重な経験でした。地元の学校に校長として赴任できたことを大変うれしく思っています。

本校は、昭和21年１月に沖縄戦最後の激戦地であったここ糸満の地に、郷土の復興を目指し、若者の未来への夢と希望を育むための学校として創設され、本年度 80 年目を迎える歴史ある伝統校です。およそ３万１千名余りの卒業生の皆さまは、県内外あらゆる分野で活躍されています。

校訓「大望実践・自主分別・立命感動」のもと、「怒涛精神」「文武両道」を合い言葉に、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を図っており、生徒は、学習活動や部活動はもとより、学校行事や生徒会活動などにも、主体的・積極的に取り組んでいます。

本校の目指す「文武両道」とは、「『文』の力で『武』を磨く」、「『武』の力で『文』を磨く」です。学習活動で培った知識や思考力・判断力・表現力が、部活動の競技力や技術力を高める。部活動で培った健康で逞しい体と精神力・忍耐力・継続力が、学力を高める。」という意味です。

令和６年度の進路実績は、県内外国公立大学26名、県内外私立大学・短大等133名、各種専門学校等123名、大学校・職業開発校等８名、就職９名となり、進路決定率は94.3%となっています。

部活動においても、体育会系20、文化系10、同好会７の合計37種あり、加入率も７割を超え、これまで野球部の甲子園大会出場をはじめ、ウエイトリフティング部、バドミントン部、バスケットボール部、ソフトテニス部、卓球部等多くの部活動が全国大会に出場致しました。令和６年度の高校総体総合７位と健闘しました。また、文化系部活においても、吹奏楽部、ダンス部など多くの実績と活躍がありました。

令和７年12月には創立80周年記念式典を予定しております。

今後も、地域に愛され、地域に信頼される学校として、保護者や同窓生、地域の方々と連携・協働しながら、生徒と教職員が一丸となって充実した教育活動を展開してまいります。

引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和７年４月吉日